

## 情報連絡員報告・1月分

## 製造業・非製造業とも概ね前月の傾向を持続

～「わずかながら好転の兆しも見える」との報告も～

&lt;東京都中央会&gt;

1月の情報連絡員報告によると、製造業の「売上高」のDI値が-20.0と悪化の度を強めたのが気になるが、その他の数値は概ね前月の傾向を持続していることが明らかになった。非製造業の「売上高」DI値は-30.6で製造業よりも悪い。「業界の景況」のDI値は、製造業で-16.9、非製造業で-34.1となっており非製造業の景況感が悪い。「わずかながら好転の兆しも見える」との報告もあり今後注目したい。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

## &lt;特記事項欄より&gt;

建具製造=わずかながら好転の兆しも見え、売上高は若干ながら上昇した。1月に入り、昨年に比較すると仕事量も増え始めている。しかし、価格については依然厳しく利益に反映されていない。

製粉業=最近前年対比で増えているのはパスタ類で生産量は、0.4%増である。パン関係では、食パンだけが増えている。小麦粉調整品の輸入は増加が続いている。

漬物水産物加工=築地市場も景気の底を打ったようで本年に入り買い出し人の

増加が見え景気浮上を感じる。

菓子製造=若干の好調企業の他は今ひとつ元気が出ていない。消費デフレの影響から脱し切れていない。

帽子製造=昨年11月の暖冬の落ち込みが痛く、冬物は昨対かなりの減。春夏物はそこそこの注文が入り、2月以降の天気に期待。帽子の種類が多様化し注文がアイテム別で細くなり生産対応が大変。

紳士服製造=少しずつ、少しずつ、悪くなっているようです。

和服縫製=業界の低迷期が続き、例年ですと新規採用を考慮する時期を迎えて

いるが、現状では新人を採用しても仕事の低価格と、仕事量の減少で先が見えない中、採用を考えている事業所はほとんどない。このままでは後進の育成が心配である。

紙器製造=業界全体的には昨年比決してよくなっている状態ではない。新聞紙上でささやかれているほど、回復している様子はないようだ。

塗料製造=前年比は相変わらずよくないが、業界全体としては回復の兆しがみられる。1月、12月よりも売上、収益ともにダウンするので、3月に賭けるしかない。

コンクリート製品製造=1月は他の月に比して稼働日数が少ないが前年同月も条件は同じであったはずであるにもかかわらずさらにダウンしている。どこ

まで落ちればストップするものかその予測がつかないところに根の深さが感じられる。

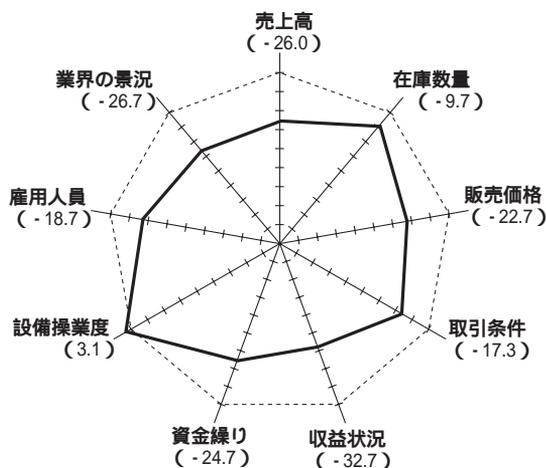
セメント製造=競争力がない企業の閉鎖などの淘汰が進み、需給バランスがとれてきた地域が現れてきた。特殊製品を提案できる技術力の有無が最大の競争力となっている模様である。

18 窯缶製造=先月の稼働日数減による減少の反動増もあって、前年比プラスに転じた。しかし、今後もこの傾向が続くとは思われず回復感に乏しい状況。

#### <要望事項欄より>

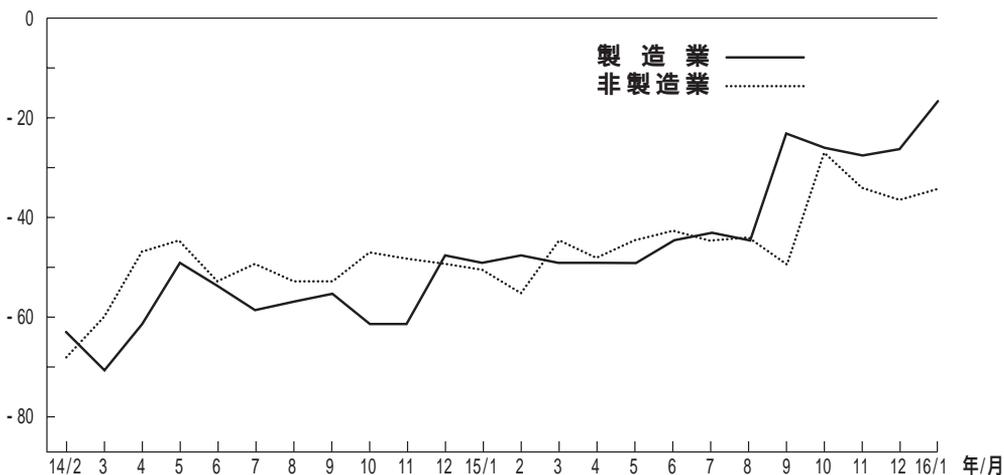
- \* 景気回復を望む。 [漬物水産物加工、菓子製造、装飾品製造、青果物小売]
- \* 融資の件で商工中金を利用する組合員が増え、感謝されている。 [帽子製造]

1月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)

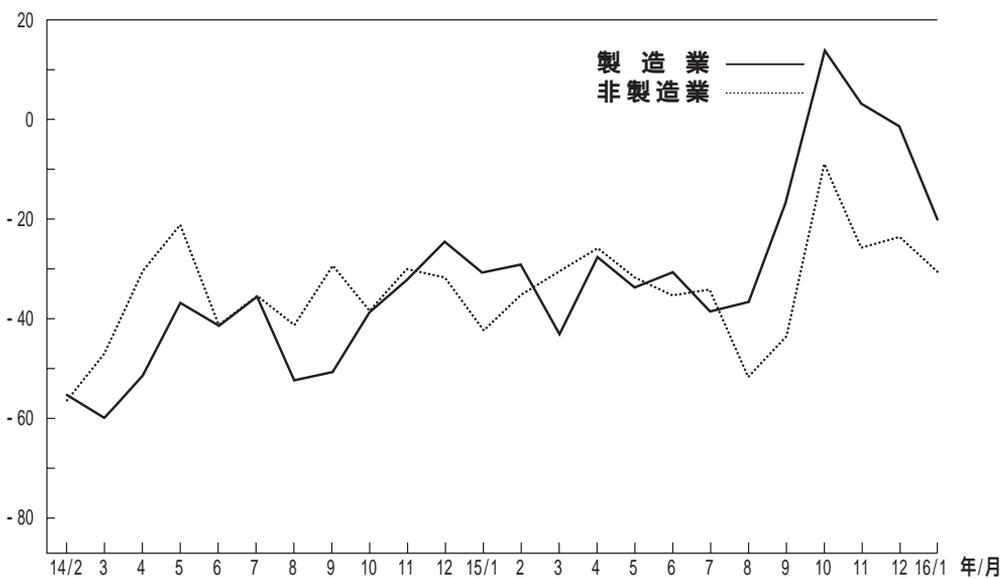


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H14.2～H16.1）  
（前年同月比）



売上高DIの変化（H14.2～H16.1）  
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。